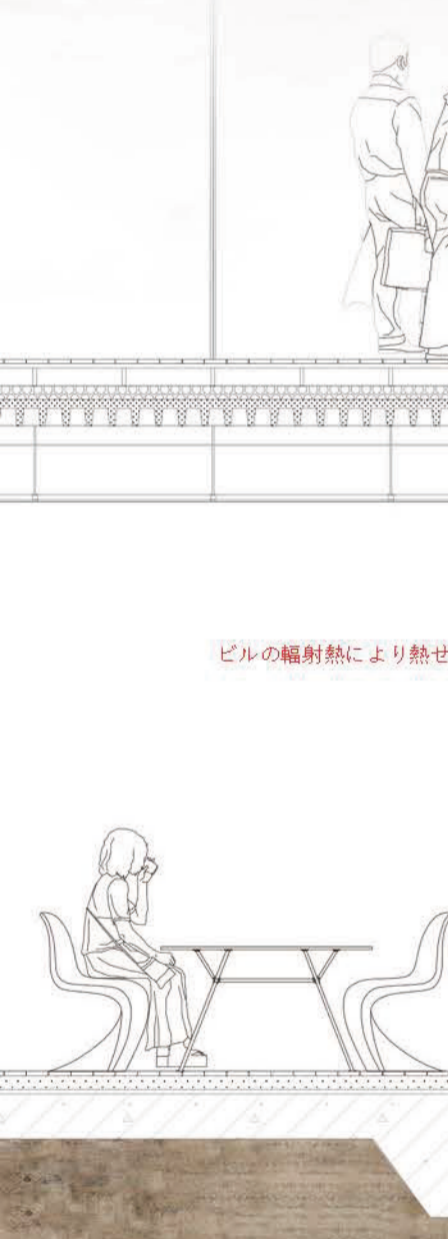


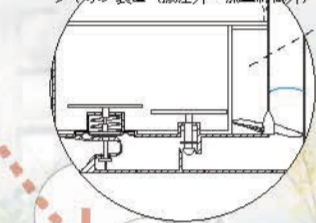
旅する雲を留めることでアンダーローフの空間を生み出す



SECTION S=1:40



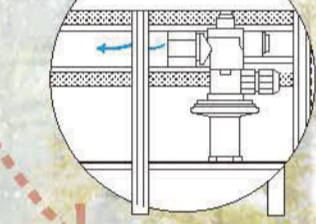
シャボン装置 (減圧弁・流量調整弁)



プロペラを用いて持続的にシャボン膜を生成する。流れてくる空気によりプロペラが回転することで膜を張り続ける。

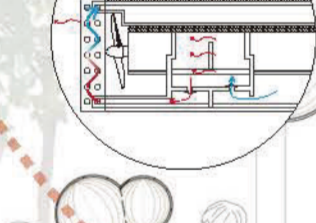
圧力を減圧し、流れる空気量を制御することでしゃぼん膜を割れないようにし、持続的に作り出すために設置する。

冷却装置 (熱源貯)



上昇してくる空気を冷却し、2FL上に冷却層を作り出し、シャボン玉を浮かせるために空気の温度を下げる。

冷却装置 (コンプレッサー・凝縮器)



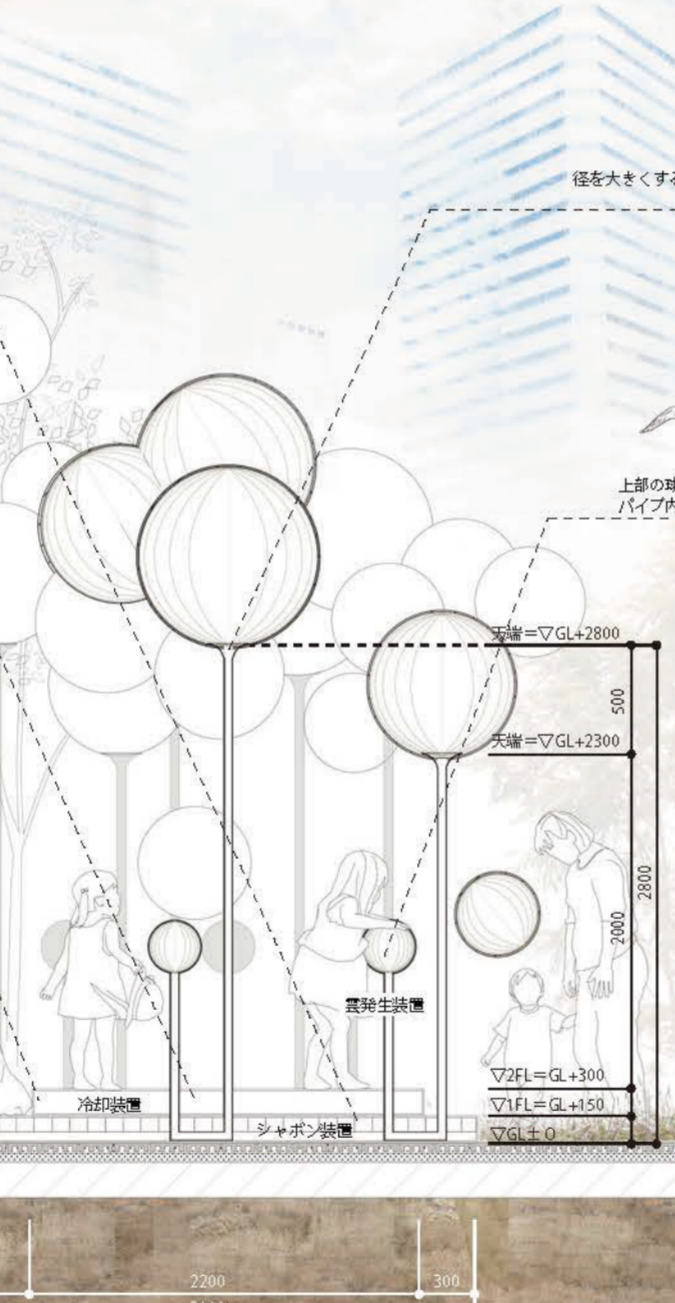
外気と熱交換させることで内部の気体を冷却する。

ビルの輻射熱により熱せられる都市

シャボン装置



シャボン玉は表面張力の影響により球体になる。

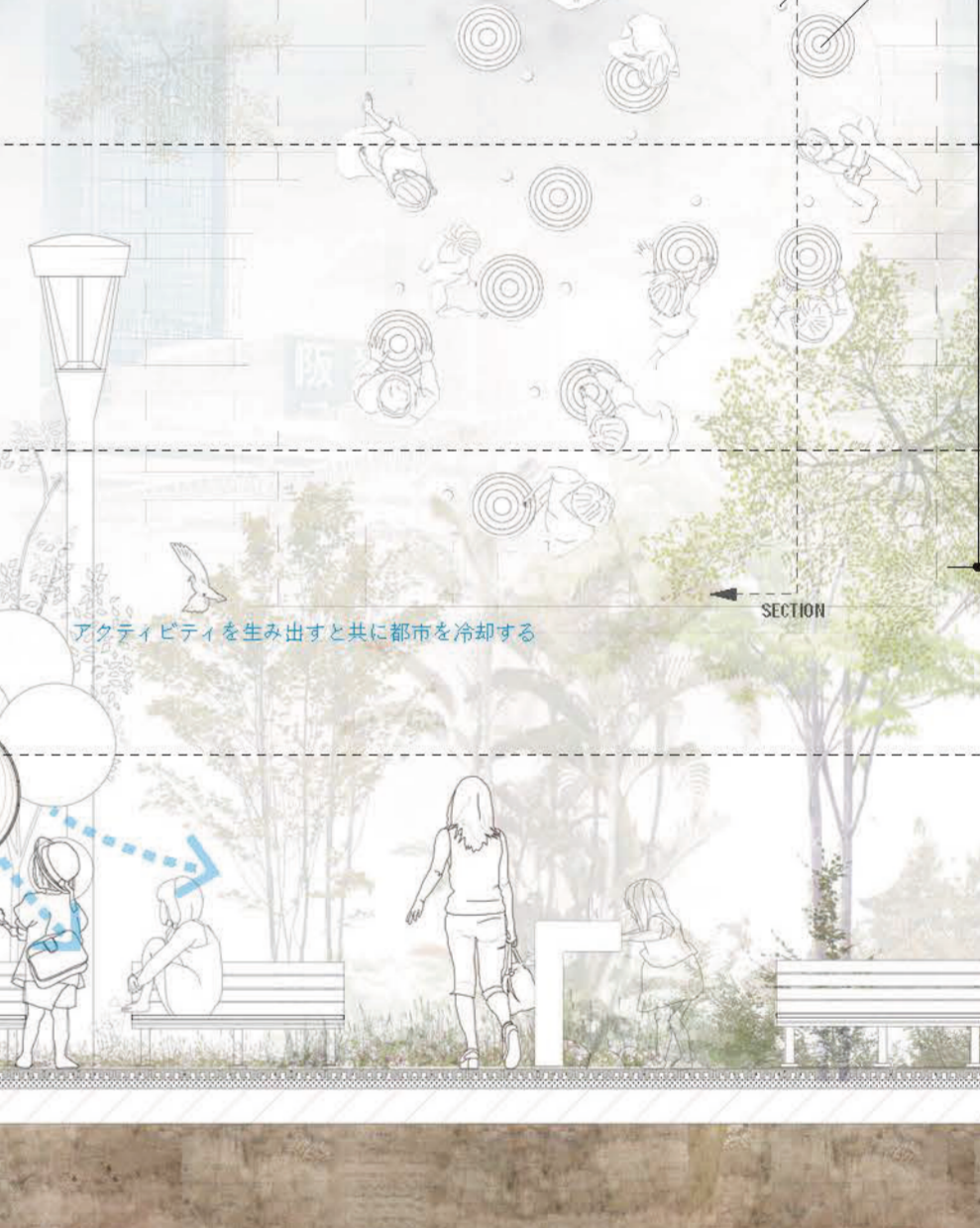


径を大きくすることで大きなシャボン玉を安定して作り出す。

上部の球体をポンプアップすることで空気を送り出し、パイプ内で圧力を高めピンを外すことにより減圧し、雲を発生させる。

シャボン玉は表面張力の影響により球体になる。

PLAN S=1:30



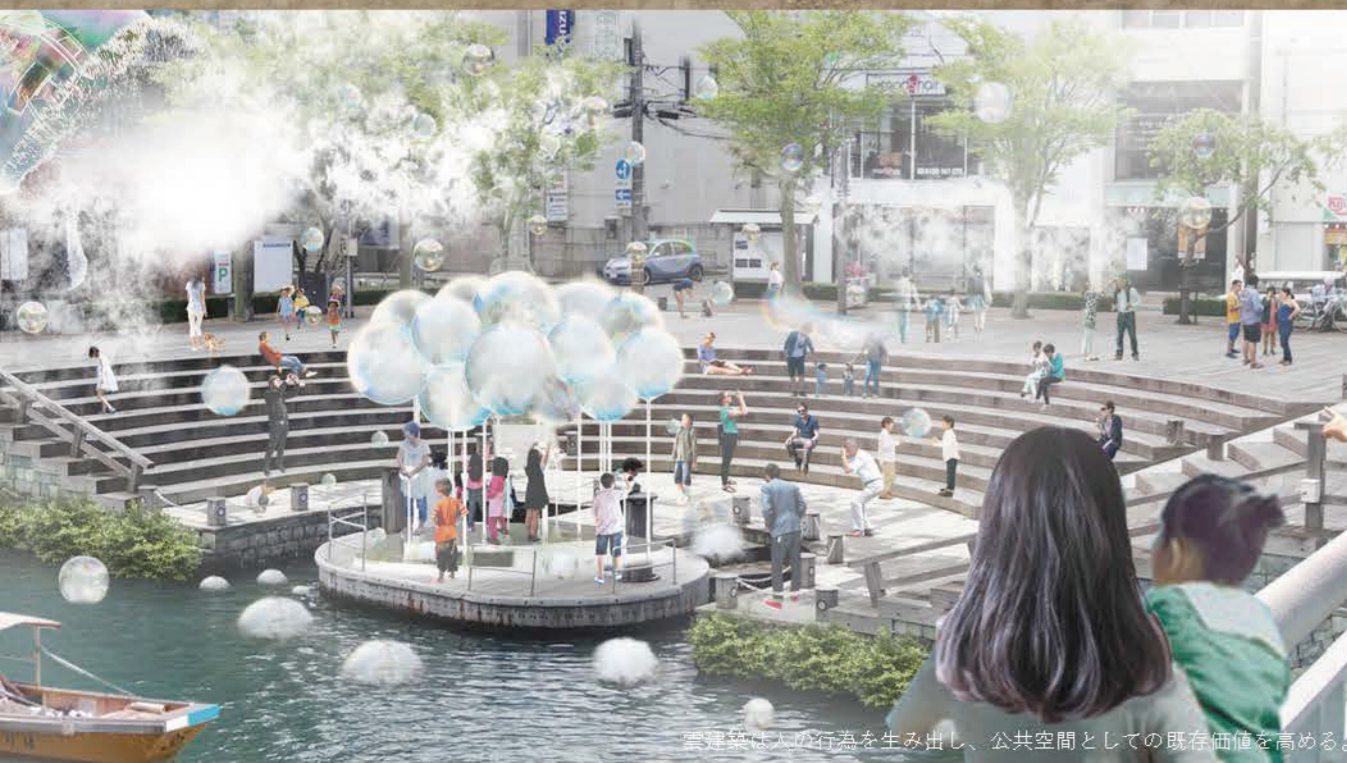
EXPERIMENT



内部の圧力差により雲を発生させる。

接続面を大きくすることで安定感を増加させる。

シャボン玉内に雲を吸入する。



公共空間としての既存価値を高める。



現象が雲建築の新たな表情を創る。



雨がシャボン膜を割り、水が滲み出すことで建築の領域が曖昧になる。